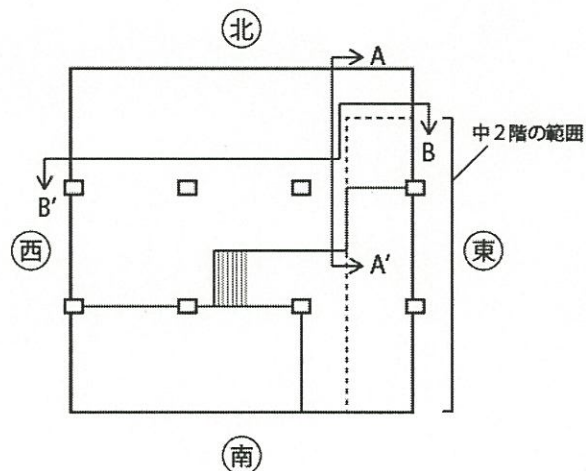


受験番号 氏名

実技試験 (鉛筆写生)

9月19日(土) 10:00-12:00 (1時間 昼休み) 13:00-16:00

- 課題**
- ① A3方眼紙に、大石膏室の東側立断面図を描く。
 - ② A3方眼紙に、大石膏室の南側立断面図を描く。



1. 配布物

- ・ 課題用紙 (本紙)
- ・ A3方眼用紙×4枚: 提出用2枚、下書き用2枚

※なお、配布物は終了後すべて回収します。

2. 写生の対象

試験会場である、大石膏室内。建築物本体のほかにも、建具、手摺、照明器具を含む。縮尺1/100程度の図面を製図する場合を想定した時に省略すると考えられるものや、展示されている石膏像及び台座は含まない。

(試験会場: 天野太郎設計 元芸大建築学科教授 1970年竣工)

3. 写生の内容

① 東側立断面図

縮尺1/100の図面製図を目的とした、東側立断面図の野帳を作成する。A-A'位置(上図参照)の断面を描き、東壁面の立面をかき加える。また、実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

② 南側立断面図

縮尺1/100の図面製図を目的とした、南側立断面図の野帳を作成する。B-B'位置(上図参照)の断面を描き、東壁面の立面をかき加える。また、実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

4. その他 注意事項

- ・ 定規は使わずフリーハンドで描くこと。
- ・ 写生の対象と内容については各自が判断することとし、質問は受け付けない。
- ・ 立断面図作成のために、A-A' およびB-B' ライン付近に立ち入ることは可とするが、中2階は立入禁止とする。
- ・ 他の受験生の邪魔にならないよう、静粛を旨とする。静粛の維持について試験監督者の指示に従わない場合、作業の中止、さらには受験を中止させる場合がある。
- ・ 試験時間中は携帯電話の電源を切り、身につけないこと。
- ・ 立入禁止の掲示や指示がある場合は、これに従う。物品に触れて破損したりすることのないよう、十分に気をつける。
- ・ 課題用紙、A3方眼用紙、すべてに受験者の専攻・番号等を所定の位置に記入し、試験会場から持ち帰らないこと。

筆答試験(2)問題及び解答用紙

問題Ⅰ 別紙1に写真で示した①から⑧の各建造物について、建造物の名称、建設年代、主な建築的特徴を下の枠内に記しなさい。
 なお、建設年代は「〇世紀」のような大まかな時期の表記でもよい。

番号	建造物の名称	建設年代	主 な 建 築 的 特 徴
①			-----
②			-----
③			-----
④			-----
⑤			-----
⑥			-----
⑦			-----
⑧			-----

問題Ⅱ 日本の世界遺産のうち文化遺産15件から1件、重要伝統的建造物群保存地区110地区から1地区をそれぞれ選び、その名称を記して各2行以内で説明しなさい。

(1) 世界遺産 名称：

説明：

(2) 保存地区 名称：

説明：

問題Ⅲ 別紙2には、大善寺本堂〔国宝 山梨県 弘安9年(1286年)〕の立面図と断面図を掲げてあります。図中に矢印で示した①から⑩の建築部材の名称を以下に記しなさい。

①： ②： ③： ④： ⑤： ⑥： ⑦： ⑧：
 ⑨： ⑩： ⑪： ⑫： ⑬： ⑭： ⑮： ⑯：

問題Ⅳ 以下の(1)～(8)から2語を選んでその番号を()に記し、各3行以内で説明しなさい。

(1) 流造 (2) 薬師寺三重塔 (3) 禅宗様 (4) 書院造 (5) 檜皮葺 (6) 野屋根 (7) 亀腹 (8) 舞良戸

番号() 説明：

番号() 説明：

問題Ⅴ 別紙3の英文は、1994年の世界文化遺産奈良コンファレンスで採択された「オーセンティシティに関する奈良ドキュメント」の一部です。日本語で大意を記しなさい。なお、英語辞書等の使用は認めない。

受験番号

氏 名

筆答試験（2） 別紙1

問題 I 写真 ①～⑧

①



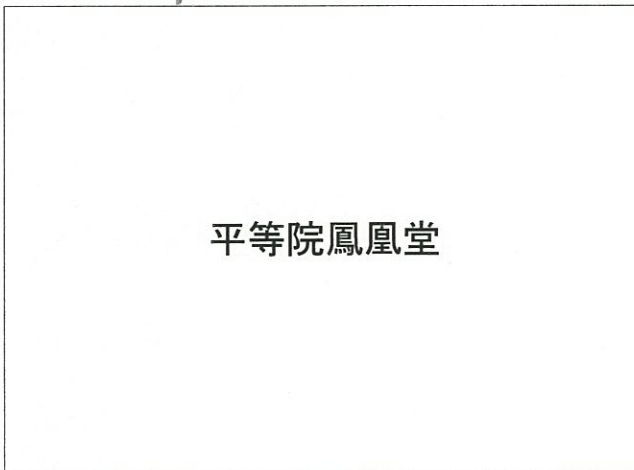
法隆寺中門

②



出雲大社本殿

③



平等院鳳凰堂

④



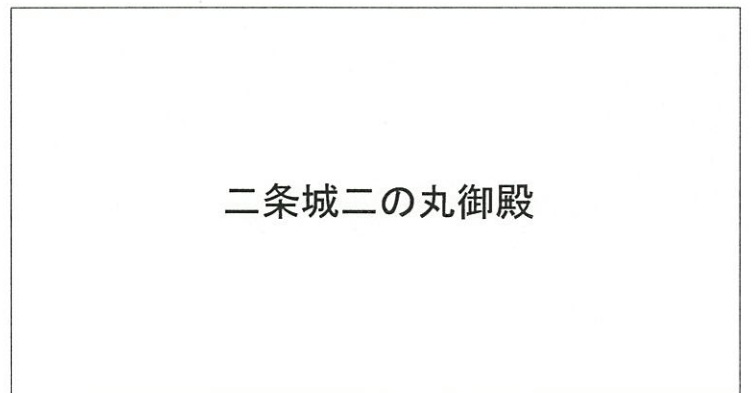
東大寺南大門

⑤



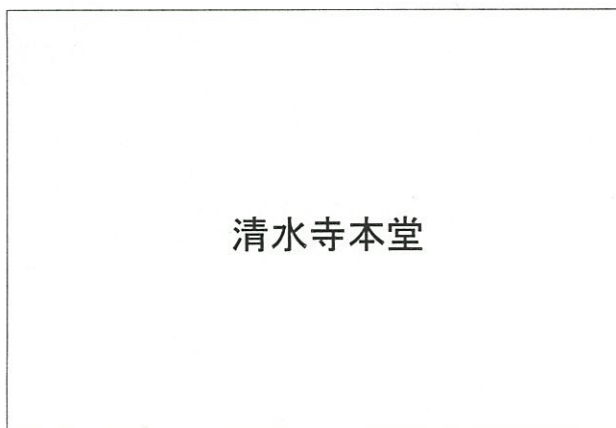
慈照寺東求堂

⑥



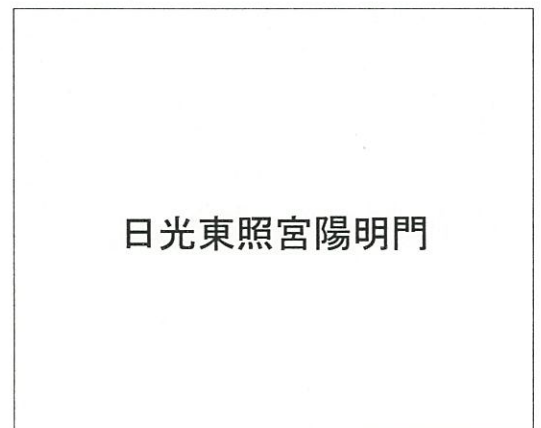
二条城二の丸御殿

⑦



清水寺本堂

⑧



日光東照宮陽明門

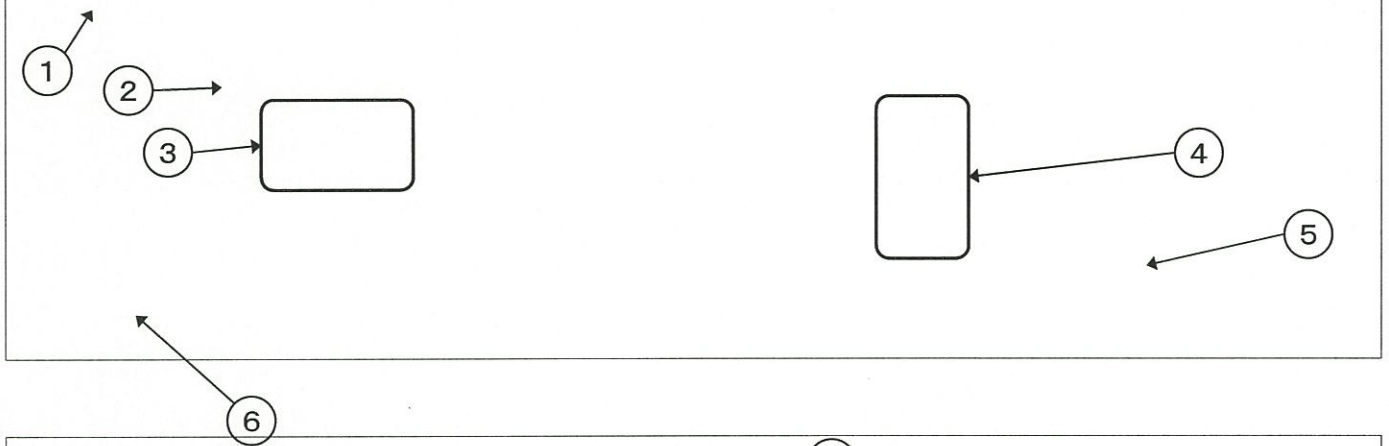
受験番号

氏 名

筆答試験（2） 別紙2

問題Ⅲ 図面

立面図



断面図

